

# INTERVIEW



白石青年会議所  
春・夏にぎわい委員会  
あいづ まさゆき  
會津 正幸 委員長

今年の盆踊りは夏まつりと同日に開催し、参加者380人、来場者約1,000人とこれまでで1番の賑わいをみせました。

参加する人も見る人も楽しめる盆踊りは、夏まつりと同様に白石の夏の伝統として、協力しながら盛り上げていきたいですね。



JR白石駅・白石蔵王駅  
おの しろういち  
小野 昭一 駅長

白石の夏まつりには、子どもたちが楽しめる体験型のイベントが必要だと思います。将来大人になって白石を離れても、夏の楽しい思い出があれば、この時期にまた帰って来たくくなります。伝統を将来につないでいくために、新しい夏まつりが必要ではないでしょうか。

白石市観光協会  
さとう よしかず  
佐藤 善一 会長



50年以上続く伝統の夏まつりを開催できて、まずはよかったと思います。パレードは開催できませんでしたが、新しい夏まつりを考えるきっかけになりました。これまでの形に固執せず、多くの皆さんと話をしながら、これからの夏まつりを考えていきたいです。

中町親商会  
やまだ しんじ  
山田 晋嗣 会長



今年はパレードを行わないので人出は少ないだろうと思っていましたが、多くの方にお越しいただきました。夏まつりを行ってよかったと思いますし、やはり多くの方が夏まつりを楽しみたいんだと実感しました。今後もおまつりが盛り上がるよう協力していきます。



16・17・18 「白石駅前盆踊り」に集まった、広場が埋め尽くされるほどの参加者。親子や友人と楽しんで踊る人や真剣な表情で踊る人、それぞれが夏の夜を満喫していました



## 新しい伝統を紡いでいく

「めんこいこけしのふるさとよ…」夜の商店街に流れる白石音頭の歌、そして歌に合わせて踊り歩く市民の大行列は、白石の夏を象徴するものでした。商店街には寂しさを感じましたが、今年は駅前盆踊りが盛大に盛り上がりました。

今回の夏まつりについて、訪れた方に話を聞くと「パレードがないと寂しく感じます」「長い間続いていたので続けてほしいです」と、パレードが行われなかったことを惜しむ声がありました。

一方、「パレードがなかったので、今年は盆踊りに参加してみました」という親子や、「白石駅夏まつりなど、子ども向けのイベントがあったてよかったです。家族で楽しめるし、子どもの思い出づくりにもなると思います」といった声も聞かれました。

これからの夏まつりは、まだ何も決まっています。しかし、多くの人が楽しめる夏まつりをつくるため、たくさんの方の声を聞き、意見を交わしながら、一緒に考えていくことはできます。新しい伝統を紡ぎ出す動きは、始まったばかりです。

伝統を次の世代へ引き継いでいく  
たとえこれまでと違う形であっても  
積み重ねることによって新しい伝統になっていく  
多くの方が楽しめる、新しい夏まつりを期待したい



19・20 壽丸屋敷で開催された「白石和紙あかり展」。木の枝やツルを用いて形作ったあかりは、電球の光が和紙を通して、あたたかみある色合いになります

